

聖火リレーのトーチを見に行こう！

東京2020オリンピック聖火リレーのトーチを県庁で展示します。
「桜ゴールド」の輝きを放つトーチを間近で見ることができ、写真撮影もできますので、ぜひお立ち寄りください。

1 展示場所

神奈川県庁 新庁舎1階ロビー(東京 2020 大会カウントダウンボード横)

2 展示期間

令和2年 11 月 12 日(木曜日)から令和3年1月 15 日(金曜日)まで(予定)

※閉庁日は除きます(土日祝日及び年末年始は除きます。)

展示時間は、8時 30 分から 17 時 15 分です。



3 その他

- ・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、内容を変更する可能性があります。
- ・県の聖火リレーについては、次のサイトで情報発信を行っています。

【東京 2020 オリンピック聖火リレー神奈川県実行委員会情報サイト】

HP:<https://kanagawa-runner.jp>



東京2020オリンピック聖火リレートーチ

東京2020オリンピック聖火リレーで用いるトーチは、長さ71センチ、重さ1.2キロのアルミ製で日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフとしています。



Photo by Tokyo 2020

Photo by Tokyo 2020

復興への想いと持続可能性への配慮

素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用しています。

人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、平和のシンボルとしてオリンピックトーチに姿を変え、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝えます。



画像提供 : Tokyo 2020

美しく、燃え続ける炎

オリンピックトーチは、聖火のかたちもデザインされています。

花びらから生み出された5つの炎は、トーチの中央でひとつとなり、より大きな輝きで「希望の道」を照らします。

燃焼部には、いくつかの技術的な工夫が重ねられており、時間や季節、気候、地域によって大きく変化する日本の環境の中で、美しく、力強い炎をともし続けます。



画像提供 : Tokyo 2020

伝統と現代技術の融合

継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチ。

その伝統的な形を、新幹線の製造にも使われている製造技術（アルミ押出成形）を用いて形作っています。

日本の伝統と高い技術力がひとつになることで生み出された、東京2020オリンピック聖火リレーを象徴するかたちです。